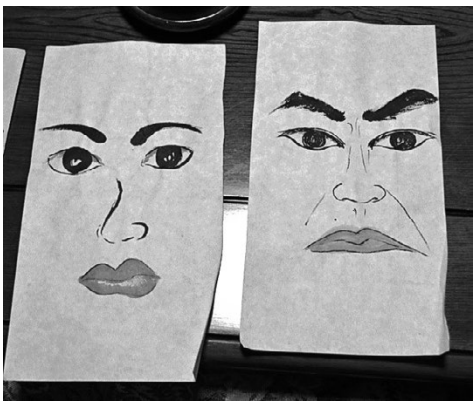
# 資料一覧
## ―大原浜・給分浜・泊浜における資料調査より―

尾曲香織
OMAGARI Kaori

これまで女講中のもつ共有膳椀を中心に、牡鹿地区の講集団に関わる帳面や共有物等の調査を行った。これには、次の 2 つの目的がある。1 つは、牡鹿地区の女講中やその他の講集団の実態を把握するためである。もう 1 つは、貴重な民俗資料が東北地方太平洋沖地震やそれに伴う津波の影響のみならず、その後の整理によって失われる危険があり、その前に資料を確認し記録するためである。3 年間の調査の結果、地域の方々の協力を得てさまざまな資料を発見した。本稿では主に集落の集会場に残されていた資料の一覧を集落別に記載する。資料の法量について計測することができたものは記述した。大原浜は平成 25（2013）年 7 月、給分浜は平成 26（2014）年 6 月、泊浜は 2014 年 1 月および 6 月に調査を行った際に記録をとった。このうち給分浜では平成 21（2009）年 7 月の戸邉優美による調査資料も加えた。

このほか、泊浜では庚申講の帳面も発見した。その内訳については【表 4】の通りである。内容は庚申講の開催日と当番の名前が記録されている。弘化 3（1846）年の資料には「膳部定書」として飯、汁、皿、小皿、平を整えるように取り決めがなされたことが書かれている。このように泊浜における祭祀やそれに関わる食事の在り方などが書かれた貴重な資料だが、紙幅の関係上本稿では昭和 3（1928）年に書かれた資料のみ記載した。泊浜の庚申講は手足を守る神様として信仰され、65 歳以上の人々が参加していた。平成 23（2011）年頃は 2 カ月に 1 回、集会所を借りて行っていた。かつては男性のみ参加できたが、次第に加入者が減ったことなどもあり女性の参加も認められ、夫婦で加入する人もいた。庚申講では掛軸を飾り、ろうそくを灯し、赤飯や御神酒を供えた。少なくとも延享 5（1748）年には行われていた庚申講であるが、新しく加入するはずの若者がいないことなどにより、次第に参加者が減少していった。そして東日本大震災の影響もあり、平成 23 年に取りやめることとなった。その際、これま庚申講の参加者の協議の結果当時の区長宅へと浜集落の長である区長に預けるというかたちで



**【写真 1】**
**道切りで使われる男女の顔が描かれた和紙**
平成 26 年 1 月 19 日／尾曲香織撮影

といえよう。

また昭和 52（1977）年からは、泊浜集落単位で行われる年中行事の 1 つである道切りおよび悪病送りについて、その頃の区長らによって作法や注意点などが記録されている。これは、当時集落の役員が 2 年に 1 回交代することにより、記録されるような内容について覚える間もなく引き継がなければならなくなったためである。このほか、道切りで用いられる男女の顔が描かれた紙のストックも区長宅に保管されている。

**【表 1】大原浜資料一覧**

| 資料番号 | 資料名 | 数量 | 法量（単位はすべて mm） | 場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 掛軸 | 1 | (全体)3390×1937<br>(画像部分)2355×1583 | 大原浜生活センター | 水に浸かったため、しわが寄ったり、一部剥がれそうな箇所有。木箱入り。平成 26(2014)年 7 月に東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター大山龍顕氏に保存修復について相談。 |
| 2 | 御獅子頭 | 1 | (木箱)480×478×335 | 大原浜生活センター | 中身は新しい。箱にはにじんだ箇所もあるものの、人名が記入されている。 |
| 3 | 賽銭箱 | 1 | 320×520×300 | 大原浜生活センター | 「三熊野神社、旧六月十五日、昭和三十三」年とある。祭礼時に行列の最後に伴われる(2008 年戸邉確認)。 |
| 4 | 木箱 | 1 | 606×143×130 | 大原浜生活センター | 掛軸等が入っている。傷多数あり。表面カビあり。蓋の表側にロウソクの溶け残りが載っている。これは地蔵講の際にロウソクを立てる台として利用したためか。 |
| 4-1 | オカケズ | 1 | (全体)1210×430<br>(画像)590×260 | 大原浜生活センター | 南無地蔵菩薩と書かれている。絹本 |
| 4-2 | オカケズ | 1 | (全体)1010×370<br>(画像)632×250 | 大原浜生活センター | 「山神尊」と書かれている。和紙。セロハンテープでの修復や、破れあり。紐がついていない。「小牛田」の印あり。 |
| 4-3 | オカケズ | 1 | (全体)1240×335<br>(画像)630×194 | 大原浜生活センター | 「小牛田　産神山神社」、印で「山神神璽」「小牛田山神社社務所」とある。 |
| 4-4 | オカケズ | 1 | (全体)1240×320<br>(画像)562×178 | 大原浜生活センター | 「小牛田　産神山神社」とある。しみ多数あり。上部右側の裏側に補強のためか紙が貼られている。4-3 と類似。軸の左側欠。 |
| 4-5 | 女講中はんこ | 1 | 60×15×15 | 大原浜生活センター | 郵便貯金と書かれたビニール製の袋(大原浜女講中とある)に包まれている。会計簿の中に購入の記載有。 |
| 5 | 柳樽 | 2 | | 大原浜生活センター | 二つが紐でくくられ、木箱に入れて仕舞われている。正面に油単と同じ紋が入っている。木箱には「家内喜樽」、もう片面に「昭和二十四年十二月吉日」と墨書あり。 |
| 6 | 木箱 | 1 | | 大原浜生活センター | 蓋に「奉納　山の神神社□□」とある。蓋の裏には「明治卅七年　正月拾貳日　願主　久道まき　佐藤千代」と墨書されている。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 6-1 | 幕 | 1 | | 大原浜生活センター | 木綿に「奉納　一筋のねかひを　か口る山の神　生子延命　商売繁盛　山神社　願主　佐藤きくよ　佐藤ゑ美枝　大正拾貳年三月十二日」と墨書されている。裏は梅柄。 |
| 6-2 | 幕 | 1 | | 大原浜生活センター | 赤い木綿製。「奉納　家内安全　阿部国子」と墨書されている。 |
| 6-3 | 幟旗 | 2 | | 大原浜生活センター | 紺色の木綿製。一方は「奉納地蔵尊　明治四十二年正月廿四日　大原濱女講中」、もう一方は「奉納地蔵尊　明治四十年三月十二日　大原浜女講中」と白抜きされている。後者の方が色あせている。 |
| 6-4 | 油単 | 2 | | 大原浜生活センター | 紺色の木綿製。継接ぎあり。片方は「大原濱女中」、もう片方は「大正十三年十月」と側面に白抜きされている。 |
| 6-5 | 幕 | 1 | | 大原浜生活センター | 片面がそれぞれ赤と白の布を合わせている。白い布の面には「奉納　大原濱　平塚熊」と書かれている。 |
| 6-6 | 鍵と錠 | 1 組 | | 大原浜生活センター | 鍵についている木札には片面に「昭和二十四年旧十二月吉日　女講中」、もう片面に「倉庫鍵」とある。 |

**【表 2】給分浜女講中倉庫内資料一覧**

倉庫内の足場が悪く、資料の計測が行えなかったため、法量は記載しない。

| 資料番号 | 資料名 | 数量 | 場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 御掛図の箱の蓋 | 1 | 女講中倉庫 | 中身は空、「昭和二十三年一月拝受　御掛図　給分濱女講中」と内側に墨書あり。 |
| 8 | 木箱の蓋 | 不明 | 女講中倉庫 | 内側に「給分女講中　たんぽ十二本」と墨書あり。 |
| 9 | 木箱の蓋 | 不明 | 女講中倉庫 | 内側に「給分女講中　三品盛　二十五　さしみ皿二十五」と墨書あり。 |
| 10 | 椀 | 不明 | 女講中倉庫 | 高台の内側に「中」などの印あり。しまってある木綿の袋に「ヒラワン」「ニノワン」と書かれており、数種類の椀が数十個保管されている。この他、朱塗り・黒塗りの椀が混在になった木箱あり。 |
| 11 | 椀の蓋 | 不明 | 女講中倉庫 | |
| 12 | 片口 | 2 | 女講中倉庫 | 裏に「女」の印あり。 |
| 13 | 盃 | 不明 | 女講中倉庫 | 三三九度に使ったとみられる盃。底に亀の絵が描かれている。また、高台の中に「女」の印あり。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 14 | 銚子 | 1 | 女講中倉庫 | 金属製。紅白の和紙や金銀の水引で飾りつけられた名残が残っている。 |
| 15 | 飯櫃 | 1 | 女講中倉庫 | 外側は黒、内側は赤色の飯櫃。蓋の裏側には「女」の印あり。 |
| 16 | 燭台 | 1 | 女講中倉庫 | 金属製の蝋燭を一本だけたてる形の燭台。 |
| 17 | 柳樽 | ３つ以上 | 女講中倉庫 | 持ち手などの欠損あり。 |
| 18 | 四足膳 | 不明 | 女講中倉庫 | 木箱に多数入っている。 |
| 19 | 盃台 | 1 | 女講中倉庫 | 朱塗りのもの。 |
| 20 | 幟旗 | 2 | 女講中倉庫 | |
| 21 | 襦袢 | 不明 | 女講中倉庫 | |
| 22 | 長着 | 1 | 女講中倉庫 | 婚礼衣装か。黒地で裾周りに模様。 |
| 23 | 帯 | 1 | 女講中倉庫 | 鶴や松の模様。 |
| 24 | はこせこ | 1 | 女講中倉庫 | 赤地に鶴の模様。 |

**【表 3】泊浜資料一覧**

老人憩の家（集会所、ここでは憩の家と表記）におかれた資料

| 資料番号 | 資料名 | 数量 | 法量（単位はすべてmm） | 場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 油単 | 3 | ①1850×810×620<br>②1320×800×660<br>③1260×780×630 | 憩の家・天袋<br>衣装ケース | 全て衣装ケース内のビニール袋①にまとめられている。 |
| 26 | 赤布 | 5 | 1030×330 | 憩の家・天袋<br>衣装ケース | 全て衣装ケース内のビニール袋②にまとめられている。５枚中２枚に記名有（「泊浜女講中 24」）。 |
| 27 | お面 | 2 | ①220×230<br>②150×220 | 憩の家・天袋<br>衣装ケース | ①はバカボンのパパ、②はひょっとこの面。衣装ケース内ビニール袋③に入っている。 |
| 28 | 不明 | 28（4 本×7 束） | 150×38 | 憩の家・天袋<br>衣装ケース | 全て衣装ケース内ビニール袋④に入っている。すべてに泊浜の記名有。松川信義氏によれば、体育祭の時に仮装で使用したとのこと。使用方法は不明。 |
| 29 | 手拭い | 6 | | 憩の家・天袋<br>衣装ケース | 衣装ケース内ビニール袋④に入っている。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 30 | レコード | 1組 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 中にレコード3枚とチラシ・表紙入り |
| 31 | 風呂敷 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 32 | 捕鯨についての冊子 | 2 | ①210×150<br>②210×180 | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 33 | 泊浜婦人会会則 | 1 | 274×197 | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 34 | 泊浜婦人会平成13年度総会資料 | 1 | 295×210 | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 35 | 泊浜婦人会平成12年度総会資料 | 1 | 295×210 | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 36 | 牡鹿町婦人会連絡協議会平成12年度総会資料 | 1 | 297×211 | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 37 | さんさ時雨歌詞カード | 6 | 183×258 | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 38 | 泊浜婦人会資料 | 3 | ①180×230<br>②157×182<br>③157×182 | 憩の家・天袋衣装ケース | ①婦人会費納入状況を示したメモ、②婦人会会費の領収書のひな形、③牡鹿町婦人会役員名簿(任期：H6.4.1～H7.3.31) |
| 39 | 平成8年度<br>泊浜婦人会総会資料 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 平成9年1月15日に総会実施 |
| 40 | 平成7年度<br>泊浜婦人会総会資料 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 平成8年1月15日に総会実施 |
| 41 | 平成6年度<br>泊浜婦人会総会資料 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 平成7年1月15日に総会実施 |
| 42 | 平成5年度<br>泊浜婦人会総会資料 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 平成6年1月15日に総会実施 |
| 43 | 平成4年度<br>泊浜婦人会総会資料 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 平成5年1月15日に総会実施 |
| 44 | 平成3年度<br>泊浜婦人会総会 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 45 | 平成2年度<br>泊浜婦人会総会資料 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 46 | 昭和63年度<br>泊浜婦人会決算書 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 期間は昭和63年1月15日～9月27日となっている。 |
| 47 | 昭和62年度<br>泊浜収支決算書 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 昭和62年1月～12月まで。 |
| 48 | 平成元年度収支内訳 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 紙1枚 |
| 49 | 昭和61年度収支内訳 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 50 | 昭和60年度<br>泊浜婦人会決算報告書 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 51 | 昭和59年度<br>泊浜婦人会決算報告書 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 52 | 生涯学習社会と女性の生きがい | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 女川町教育委員会社会教育指導員が行っているシンポジウムのパンフレット。平成5年10月21日(木)PM7：00～ |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 53 | 平成 6 年度牡鹿町交通安全母の会総会次第 | 1 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 平成 6 年 4 月 18 日午前 10 時 30～牡鹿町公民館ホールにて |
| 54 | 座布団カバー | 30 | 530×540 | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 55 | 縄 | 4 | | 憩の家・天袋衣装ケース | 使途不明、麻製 |
| 56 | 手拭 | 3 | | 憩の家・天袋衣装ケース | クリーニングに出した後未開封の為実測なし。赤と白の斜線の模様 |
| 57 | 文具 | | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 58 | 不明 | 28 | 135×152×13 | 憩の家・天袋衣装ケース | 衣装ケース内に別にまとめられていた。28 と同じもの |
| 59 | テープ類 | 22 | | 憩の家・天袋衣装ケース | ビデオテープが 1 本、カセットテープが 21 本。「さんさ時雨」など民謡が収録されている。 |
| 60 | カスタネット | 14 | | 憩の家・天袋衣装ケース | |
| 61 | そろばん | 1 | 1005×250×45 | 憩の家・天袋 | 泊浜の分校で使用されたもの。 |
| 62 | 仮装用衣装 | 31 | | 憩の家・天袋 | 花笠やお多福の面、もんぺなど。 |
| 63 | 扇 | 16 | 510(広げた横幅)×290 | 憩の家・天袋 | 柄に「泊浜」と白い字で書かれている。赤色 8、緑色 8。 |
| 64 | まんじゅう笠 | 1 | φ470×100 | 憩の家・天袋 | |
| 65 | 兵児帯 | 11 | 1980×340 | 憩の家・天袋 | 中には「泊　地蔵講社　昭和四十五年度」や「泊浜地蔵講昭和四十九年度」と記されたものもある。 |
| 66 | 小槌 | 1 | 300×75 | 憩の家・天袋 | |
| 67 | 衣装箱 | 1 | 340×705×320 | 憩の家・天袋 | 蓋の内側に「昭和四十二年十月吉日　泊濱　地蔵講中」と書かれている。婚礼衣装が入っている。 |
| 68 | 柳樽 | 2 | 370×475 | 憩の家・天袋 | 2 つあるが、紐で 1 つに縛られている。 |
| 69 | 末広の箱 | 1 | 54×199×27 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 中身は入っていない。 |
| 70 | 帯締め | 1 | 約 1300×φ15 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 途中で切れている。 |
| 71 | 櫛 | 1 | 89×45 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |
| 72 | はこせこ | 2 | ①110×70×17<br>②115×70×14 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |
| 73 | 扇 | 1 | 300(広げた際の横幅)×180 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |
| 74 | かんざし | 1 | 200×9 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 75 | かんざし(箱入り) | 9 | | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 外れたパーツ類 9 点有り。 |
| 76 | 風呂敷 | 1 | 1350×1350 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 「泊浜女講中」の縫いつけあり。77 から 82 までこの風呂敷でまとめられている。 |
| 77 | しごき帯 | 2 | ①3460×300<br>②3600×280 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |
| 78 | 帯揚げ | 1 | 1330×200 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |
| 79 | 長襦袢 | 1 | | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 縮緬、シミ多数あり |
| 80 | 手拭 | 1 | 900×330 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 豆絞り |
| 81 | 襦袢 | 1 | | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 襟芯に新聞紙が利用されている。 |
| 82 | 振袖 | 1 | | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |
| 83 | 風呂敷 | 1 | 700×700 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | 「泊浜女講中」とある。84 の帯を包んでいる。 |
| 84 | 帯 | 1 | 4000×310 | 憩の家・天袋・衣装箱内 | |
| 85 | 表彰状 | 4 | ①475×355<br>②・③485×365<br>④420×315 | 憩の家・納戸 | ①は牡鹿町立谷川小学校父母教師会宛の表彰状(昭和 59 年)、②は谷川小学校泊分校父母教師会への感謝状(昭和 59 年)、③泊浜行政区長あてに感謝状(昭和 59 年)、④PTA 地区対抗競技で優勝した時の賞状(昭和 61 年)。 |
| 86 | 燭台 | 1 | 650×1145 | 憩の家・納戸 | 宝珠型、地蔵講で使用したもの。 |
| 87 | 膳(女講中) | 20 | 箱：570×300×430<br>袋：270×300<br>膳：260×260 | 憩の家・納戸 | 木箱の蓋に「御引物膳　貳拾人前入　昭和三十年新調」と墨書あり。また、木箱の蓋のみもう一枚ある。 |
| 88 | 膳(実業団) | 36 | 袋：440×480<br>膳：390×390 | 憩の家・納戸 | 朱塗りで、底が黒。底に「実」の印が付いている。 |
| 89 | 徳利袴 | 30 | 袋：156×310<br>徳利袴：φ74×36 | 憩の家・納戸 | 朱塗りで、底が黒。底に「女中」の印有り。ガーゼ時の袋に５つづつ仕舞われている。袋には泊女中 No.〇というように番号が書いてある。 |
| 90 | 椀 | 40 | ①φ120×70<br>②φ132<br>③φ120×50<br>④φ134<br>⑤φ63×95<br>⑥φ75<br>⑦φ115×52<br>⑧φ102<br>⑨φ110×50<br>⑩φ93 | 憩の家・納戸 | ①飯椀、②飯椀の蓋、③平椀、④平椀の蓋、⑤壷椀、⑥壷椀の蓋、⑦煮椀、⑧煮椀の蓋、⑨汁椀、⑩汁椀の蓋<br>汁椀を除く各椀の蓋に「実」を丸で囲んだ印が入ったものもある。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 91 | 盃 | 3 | ①φ120×40<br>②φ104×30<br>③φ96×25 | 憩の家・納戸 | このほか茶ふきん(300×300)と共に箱に入っている。箱の蓋の裏には「銀盃　泊浜實業団」と書かれている。 |
| 92 | 盃台 | 1 | 170×170×105 | 憩の家・納戸 | 朱塗り |
| 93 | 木盃 | 1 | | 憩の家・納戸 | 箱の蓋裏に「昭和六年　木盃　泊浜實業団」と書かれている。 |
| 94 | 銚子 | 1 | 270×270 | 憩の家・納戸 | 蓋の裏に「中」と印がある。 |
| 95 | 半纏 | 14 | | 憩の家・納戸 | 女講中の講員が花嫁の出迎え時などに着用。現在は運動会で小学生が借りて着用。 |
| 98 | 飯櫃を入れる箱 | 1 | 蓋：356×49<br>本体：330×210 | 憩の家・納戸 | 木製。飯櫃が二つ入っている。蓋の裏に「泊濱實業團　御飯櫃　昭和六年十月吉日」とある。 |
| 99 | 飯櫃 | 2 | 280×130<br>255×110 | 憩の家・納戸 | 木製。漆塗。 |
| 101 | 獅子頭 | 1 | | 憩の家・納戸 | 獅子頭の入った箱のふたの裏には「大正参年壱月造之　泊濱青年会　御獅子頭　平塚忠蔵　松川長助　平塚升松　仝円助　仝惣治　阿部栄太郎」とある。 |

**【表 4】泊浜庚申講資料一覧**

平成 23（2011）年より現区長宅に保管されている。
いずれの資料も庚申講の当番について記述されている。

| 史料番号 | 年代 | | 表題 | 法量（縦×横・mm） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 延享 5 年 | 1748 年 | 延享五年　庚申帳　二月六日 | 130×170 | |
| 2 | 寛延元年 | 1748 年 | 寛延元年　庚申帳　十一月十日 | 128×166 | |
| 3 | 文化 12 年 | 1815 年 | 文化十二年　庚申帳　いの　二月政 | 136×150 | |
| 4 | 天保 3 年 | 1832 年 | （なし） | 130×336 | 綴られたものが外れ 1 枚のみ。 |
| 5 | 天保 5 年 | 1834 年 | 天保五年　庚申帳　十月二十九日 | 134×296 | |
| 6 | 天保 7 年 | 1836 年 | 丙申天保七歳　庚申帳　二月十一日 | 130×338 | |
| 7 | 天保 9 年 | 1838 年 | 戊戌　天保九年　庚申□□勤方帳　□月 | 128×328 | |
| 8 | 弘化 3 年 | 1846 年 | 弘化三年　庚申実□記　□□十二月九日ヨリ　□□ | 128×338 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 弘化 3 年 | 1846 年 | 丙弘化三年　庚申人数扣帳　午六月日 | 140×304 | |
| 10 | 明治 4 年 | 1871 年 | 明治四年　庚申講中勤方帳　辛未正月□々　十仁人組 | 130×340 | |
| 11 | 昭和 3 年 | 1928 年 | 昭和参年　庚申講中記念帳　舊貳月参拾日 | 120×330 | |
| 12 | 平成 12 年 | 2000 年 | 庚申講　平成 12 年 10 月 29 日 | 251×180 | B5 ノート |

**【資料 11】　「昭和参年　庚申講中紀念帳　舊貳月参拾日」**

（表紙）
「昭和参年
庚申講中紀念帳
舊貳月参拾日」

定
一 白米　五合
一 金　貳拾銭
一 御神酒　壱盃

右之通庚申当番相
當リ其者へ一人前之□
金品トシテ相渡可事

配膳定
一 酒佐賀奈　三種
一 御吸物　壱通
一 御飯
一 御汁
一 御皿
一 御子ノ物
一 御平

右之通り定書ノ外者
相成間敷事

（裏表紙）
泊濱講中

平塚春吉
阿部傳治
平塚留吉
平塚惣治
阿部幸八
松川番太郎
平塚松治郎
平塚喜蔵
松川長助
松川庄吉
松川齋兵衛
平塚由吉